

# 市の基金の状況をお知らせします

市では、一般の会計とは別に基金を持っています。これは、家庭では預貯金にあたるもので、現在、八潮市ではその用途に分けて12の基金（特別会計分は除く）を持っています。

その残高と主な基金の状況について、広報やしお4月号と5月号で説明します。

☎財政課 ☎306

## 主な基金の状況

### 長田義弘教育基金(平成24年度末残高:110,816千円)

長田義弘教育基金は長田義弘氏(市内緑町在住)から八潮市へ「八潮市の子どものために教育基金を設けて、教育育英として貸し付けを行い、有用な人材を育成していただきたい」という目的で平成元年1月26日に1億円の寄附金をいただきました。

市では、この寄附金により平成元年4月1日に八潮市教育基金を設置し、高等学校、専修学校、大学の修学に要する費用の一部を無利子で貸し付けする教育資金貸付事業を開始しました。その後、同年4月3日にさらに485万円の寄附金をいただき、基金へ積み増しました。

この事業では、平成元年度から平成24年度までに延べ349人が利用され、貸付累計額は1億1,854万5千円となり、保護者からは経済的な負担が軽減されると大変感謝されています。

この事業において、長田義弘氏の功績が多岐にわたることから平成24年9月24日、新たに「長田義弘教育基金」を設置しました。

### 長田義弘国際教育基金(平成24年度末残高:100,001千円)

長田義弘国際教育基金は長田義弘氏(市内緑町在住)から平成2年2月28日に八潮市へ「八潮市の子どもに国際教育の振興を図るため、市内中学校生徒および教職員の国際的感覚を高めて地方文化の向上に資する」目的で寄附の申し出があり、平成2年から平成24年までに1億3,020万円の寄附金をいただき、特に、平成16年8月6日には1億円の寄附金をいただきました。

市では、平成2年4月1日に八潮市国際教育基金を設置するとともに、この寄附金などにより中学生の海外派遣事業を開始しました。

この事業では、平成2年度から平成24年度までに延べ396人がオーストラリアなどに行き、他国の文化に触れ国際感覚を身につける貴重な体験を得ることができたと大変感謝されています。

このような長田義弘氏の多年に亘る功績から平成24年9月24日、基金の名称を「長田義弘国際教育基金」としました。

## 各基金の平成24年度末残高

(単位:千円)

名称	平成24年度末残高
財政調整基金	601,077
減債基金	103,315
公共施設整備基金	50,578
高速鉄道整備基金	30,285
ふれあい基金	8,868
工業振興基金	2,550
緑の基金	1,571
つくばエクスプレス対策基金	962
教育基金	2,820
長田義弘教育基金	110,816
長田義弘国際教育基金	100,001
学校建設基金	200,250
合計	1,213,093

# 施政方針および市政の執行状況

平成25年第1回市議会定例会が2月27日から3月19日まで開催され、市長が開会初日に施政方針と前定例会以降の市政執行の概要について報告しました。その内容を「市民が育む 品格と活力のあるまち やしお」の実現を目指す、市基本構想の6本の柱に分類してお知らせします(一部抜粋)。全文については、市ホームページに掲載。

## 施政方針

本市の平成25年度の財政運営の見通しは、歳入においては、税制改正に伴う法人市民税の減があるものの、固定資産税や市たばこ税の増により市税全体では、若干の増額が見込まれています。

歳出においては、人件費の減が見込まれるものの、依然として生活保護費の増大が見込まれるとともに、新たに設置する2カ所の認可保育所にかかる運営費の増などにより、厳しい財政運営が見込まれています。

そのため、平成25年度の予算編成に当たっては、限られた財源を有効かつ効率的に活用するため「選択と集中」の視点で、事業の必要性・優先度・効果、経費の内容などを徹底的に検証し、事業の厳選に努めたところです。

## 市政の執行状況

### 1 かいてき

#### 新時代を支える都市の形成

▼地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会で、1月30日、埼玉県知事に、2月15日に茨城県知事に対し、要望活動を実施。

### 2 やすらぎ

#### 心やすらぐ安全な生活環境の形成

▼1月17日、「災害時における緊急・後方・復興支援活動に関する協定」を特定非営利活動法人災害支援団体ネットワークと締結。

▼1月24日、埼玉県東南部地域放射線対策協議会で、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う除染作業などに対する国や県の支援を埼玉県知事に要望。

▼2月10日、八潮メセナで、第4回八潮市環境推進大会を開催。

▼2月3日、「第7回まちづくりフォーラム」を開催。

▼2月8日、東武バスセントラル株式会社へバスの増便や路線の新設、延伸などについて要望活動を実施。

▼2月14日、首都圏新都市鉄道株式会社に対し、東京駅への延伸、八潮駅の改札機の増設について要望活動を実施。

▼南部地区町名策定に係る経緯などについて、7町会に対し、説明を実施。

▼平成25年1月末における有収水量は、827万5015立方メートルで、前年同期と比較し、7万5153立方メートルの増加。

### 3 ふれあい

#### 明るく生きがいにみちた社会の形成

▼1月17日、八潮メセナで、「成年後見制度研修会」を開催。

▼1月22日、八潮メセナで、研修会「八潮市の高齢者の現状と介護予防」を開催。また、1月30日、保健センターで、介護予防講演会「こころの健康維持とうつ予防について」を開催。

▼1月16日、八潮メセナで、「第38回八潮市農業祭」に出産された優秀な農産物などの生産者を表彰。

▼2月24日、やしお生涯学習館で、「第22回八潮市消費生活展」を開催。併せて「特産品・推奨品フェア2013」を開催。

### 5 はぐくみ

#### 明日の八潮を担う人づくり環境の形成

▼1月8日から、幼い子ども連れの利用者に気兼ねなく図書館を利用いただくため、「赤ちゃんタイム」を実施。

▼1月14日、八潮メセナで、「成人式」を開催し、542人が参加。

▼1月20日、「第48回市内一周駅伝大会」を開催。

▼1月31日から2月3日まで、の間に、やしお生涯学習館で、生涯学習学校開放講座合同作品展を開催。

▼2月2日、八條公民館で、「冬の星空観察教室」を開催。

▼2月2日に市民大学大学院の研究発表会、2月9日に、市民大学2学年による自主研究発表会を八潮メセナで開催。

▼2月17日、「やしおふれあい親子健康マラソン大会」を開催。

### 6 すいしん

#### 市民に開かれた計画的な行政推進体制の形成

▼2月1日、八潮メセナで、市表彰規則に基づき、市政に功労のあった方の表彰を実施。

▼2月19日から21日までの間、潮止、八條、八幡の3地区で、「生涯学習地域会議」を開催。

☎企画経営課 ☎8855